

# 令和8年3月第1回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

## 【木島平村議会議員 山本 隆樹】

質問事項	質問 要 旨	答弁者
<p>1. 今後の「道の駅ファームス木島平」の運営は</p>	<p>「道の駅ファームス木島平」が開業して11年目に入っている。</p> <p>昨年3月、「道の駅ファームス木島平再整備計画」の村民説明会后、様々な意見が寄せられ計画の見直し、内容等検討中とのこと。</p> <p>① 事業費として、借り入れた過疎債は償還終了しているか。</p> <p>② スケジュールを含めた今後の進め方は、 改めて「道の駅ファームス木島平」の現状を伺う。</p> <p>③ 売店、カフェ、食堂の今年度の現時点の売上額は。また、課題は。</p> <p>④ イベントによる賑わいの現状は。</p> <p>⑤ 保育園、小中学校、下高井農林高校、社協や各種団体、有志の活動など、地域の「ふれあいの場」「つながりの場」としての活用状況は。</p> <p>⑥ 人口減少、少子高齢化の中、子どもを真ん中に置いた多世代交流の居場所が求められている。全天候型のアソビバ、ツクルバ(体験)、ライブラリ、子どもが主体的に取り組める環境の場の提供は。</p> <p>⑦ 行政主導でもなく、民間任せでもない、真の意味の「共創の場づくり」が求められている。運営を農業振興公社、観光振興局の合同でできないか。木島平村存続可能な取組にも繋がると思うが。</p>	<p>村 長</p>

# 令和8年3月第1回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

## 【木島平村議会議員 山本 隆樹】

質問事項	質問要旨	答弁者
2. 木島平型教育とは	<p>木島平村の教育は過去から「往郷教育」等で高く評価され、地域と一体となった独自のモデル、「木島平型教育」として現在に至っている。教育こそ希望の源であり、人口減少、少子高齢化により、教育の重要性が高まっている。令和7年度から木島平村教育大綱も刷新された。安心して子育てができ、誰もが学び続けられる村 ～みんなで育む 子どもたちの未来～</p> <p>改めて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 木島平型教育の特徴は。なぜ注目されてきたのか。</li> <li>② 改定に伴い、特に力を注ぐ取組は。</li> <li>③ 木島平型教育を進める中で、課題と感じていることは何か。</li> <li>④ 家庭状況の変化、地域コミュニティの減少また、多様性を認め合う教育の中で従来とは異なる問題点も増えてきている。気軽に相談できる場所が求められている。「こども家庭センター」では、どのように対応されるか。</li> <li>⑤ 「地域そのものが教室」と私は思うが、村長の思いは。</li> </ol>	村長 教育長